

2023年度

事業計画書

1 事業計画書

2 収支予算書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

2023年度事業計画書

今年度は、2019年度終盤より起こったコロナ禍が収束せず、またロシアによるウクライナ侵攻が引き起こしたエネルギー難、円安が招いたコスト高が響き、協会の収支は厳しいものになりました。ただ、袖師及び興津両センターの利用頻度は若干回復し、また親睦、健康増進のための各種福利厚生行事等の一部が再開されました。

2023年度も先行きが見えませんが、コスト削減と事業の積極的な利用促進を図り、当協会としては例年同様に港湾で働く方々のニーズに対応し、良質なサービスの提供を目指してまいります。具体的には、次の事業を重点的に進めていくとともに、会員各社への食堂・港湾住宅を中心とした利用促進を訴求し、サービスレベルの向上を図ってまいります。

1. 清水港湾労働者福祉センター（袖師センター）

袖師センターでは築後41年の経年劣化で埋め込み式の浄化槽の不具合が頻出しており、来年度は日港福の施設整備助成金を利用して地上式の浄化槽への新規更新、不調であった会議室等空調室外機の更新他計3件の補修工事をいたします。

今期は食堂の立て直し策として、Webサイトへの広報・情報提供を行い、メニューの工夫と相まって、客層が拡大してきました。売れ残りの食品廃棄が少なくないためその対策を打つとともに、メニュー単価設定の厳正化を図っています。

来期も引き続き食堂の活況を維持しつつ、食品廃棄を根絶し、赤字補填の出血を極小化してまいります。

2. 清水港湾興津センター（興津センター）

今期は食堂の立て直し策として、蛍光灯照明のLED化工事、経年劣化の著しい厨房器具の更新、外部サンデッキの張り替え・ベンチ敷設、FREE Wi-Fiの導入を行い、食堂の魅力向上を図りました。

来期も利用者に愛される施設を目指し、同時に別の業態のスタディも進めてまいります。

3. 文化体育奨励事業への助成

コロナの影響を最も受ける事業ですが、シーパレス利用に対する補助は今期2月より利用ルールを厳正化し、文化体育奨励事業も規模縮小の願いをしてキャッシュアウト抑制の対策を図りました。

来期は新しく始まった賛助会員を含めて、シーパレス利用によるサービス提供を充実させ、各種文化体育奨励事業への適切な助成も行っていきます。

4. 馬走テニスコート

今期9月の台風15号被害で1ヶ月弱利用ができない状態となりましたが、利用者の協力のおかげで大きなコストが発生することもなく復旧し、今は活発な利用状況で推移しています。

2026年度に始まる次期5ヶ年計画まではコートの状態を維持し、利用者にサービスの提供を続けてまいります。

5. 小島港湾住宅

今期は、庭の雑草除去に薬剤の利用を試し、安価なメンテナンスの道筋を付けました。入居者入れ替えの際のハウスクリーニングで、内装仕様のグレードアップを図り、入居者には好評をいただいています。

来期は引き続き経年劣化の進んだ部屋への入居時の点検を徹底し更新すべき器具等は入替していきます。

再来期には、共用部照明のLED化工事、共同インターネット配線の引き込み、宅配ボックスの設置、名称変更など入居者の利便性向上施策を施してまいります。

6. 事務所賃貸

予定の法人の移転中止のため、事務所として設えた空きのままのスペースを、貸事務所と利用する先を探します。港頭地区に立地すること、協会の提供する各種サービスを同一建物内で受けられることのメリットを訴求し、会員事業者を中心に賃貸先をあたってまいります。

